

1. 評価結果概要表

作成日 2007年7月31日

【評価実施概要】

事業所番号	1290100021
法人名	株式会社ツクイ
事業所名	ツクイ蘇我サンフラワー
所在地	千葉市中央区南町3-3-15 (電話) 043-209-1607

評価機関名	特定非営利活動法人コミュニティケア研究所		
所在地	千葉市中央区千葉港4-4千葉県労働者福祉センター5階		
訪問調査日	平成19年7月27日	評価確定日	8月20日

【情報提供票より】(19年6月25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成18年8月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 2人, 非常勤7人, 常勤換算9人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り		
	2 階建ての	1 階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	実費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 180,000円	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	600 円	おやつ	100 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(6月25日現在)

利用者人数	9 名	男性	4 名	女性	5 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名		
要介護3	4 名	要介護4	0 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 82 歳	最低	76 歳	最高	88 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	三愛記念そが病院
---------	----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

平成18年8月に開設したグループホームである。JR蘇我駅から徒歩10分のところにあり交通の便が良く、また、商業施設が近くにあることから買い物に行くにも便利である。建物の裏手に公園があり、適時、散歩することができる。1階のユニットの名前は職員全員で話し合い、「海」と命名し、その理念として、「海のように大きな心で、自由な生き方、笑顔で過ごせる、ゆとりある生活を大切に、家族のように助け合う、地域で一番のホームを目指す」を掲げている。2階のユニットは平成19年6月にオープンしたばかりで、ユニットの名前は「空」である。職員全員参加での運営に心がけており、今後はもっと地域に溶け込んでいきたいと前向きな姿勢のホームである。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	1階の「海ユニット」は開設1年余であり、初めての外部評価のため「前回評価は無し」。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ホームの職員全員に周知させ、外部評価の意義を話しあった。2階の「空ユニット」は開設後1ヶ月余りのため、今回の調査対象にはなっていない。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は過去3回開催している。町会長、民生委員、入居者家族が出席し活発な意見交換が行われている。ただ、運営推進会議にはあんしんケアセンター及び行政の職員の参加が得られていない。また、入居者の参加がない。ホームの質確保を図るとともに、地域の一員として、その役割を果たすためには、幅広い立場の人が参加が求められる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	入居者や家族からの意見、要望は毎月開催のミーティングの時に話し合うとともに、日々のケアの中でその都度対応している。また面会に来られない家族には電話、書面にて意見、要望を聞くようにしている。しかし、意見、要望を出せる機会や場づくり、意見、要望をサービスに反映させる具体的な仕組みづくりが未整備である。家族会を設けるなどして、家族同士の集まりの場で意見が出せるような仕組みが必要と思われる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	昨年は町会長さんから夏祭りなどの行事へのお誘いがあったにもかかわらず、開設間もないことから参加できなかった。しかし、今年は、町内会に入会し夏祭りに参加する予定である。また民生委員との連携も図られつつある。ボランティア参加を得るなど、地域交流を活発にすることが期待される。また、地域住民から認知症や介護等について相談を受けるなど、地域の一員としての役割発揮が期待される。

2. 評価結果 (詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所の理念とともに、1階ユニットの理念を独自に職員全員で話し合い作成している。2階ユニットはこの6月にオープンしたことから、ユニット独自の理念はこれから作り上げる予定である。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は月1回開催のミーティングで理念を確認している。また、日々の仕事の中で、理念に基づいてホームの運営やケアのあり方などを振り返り、今後の課題を明らかにして取組みを進めている。理念を入居者や家族とも共有している。また、運営推進会議で理念を紹介している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホームの開設時に地元説明会を開催したが、町内会の夏祭りや敬老会などの行事には参加できておらず、地元とのつきあいは不十分である。入居者の暮らしや職員の体制が落ち着いてきたこと、町会長が積極的に行事などに誘ってくださることから、地元との交流を前向きに検討している。		ホームとして、今年は地元の祭りや敬老会への参加を予定している。行事参加を進めるとともに、ホームが地域住民の一員として地元の活動や地域住民との交流を積極的に取り組んでいくことが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の評価を受けるに当たって職員全員に外部評価の資料を渡すとともに、評価結果を踏まえて改善に向けて全員で取り組んで行くことを確認している。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を過去3回開催している。家族、民生委員、町会長の出席があり、そこでの話し合いが質の向上に生かされている。しかし、千葉市やあんしんケアセンター及び入居者の参加がない。		千葉市等には運営推進会議の意義や役割等を理解して積極的に参加してもらえよう働きかけることが重要と思われる。また、ホームの入居者の参加は欠かせないことから積極的に働きかけることが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	入居者の権利擁護について千葉市に相談している。また、2階ユニットを開設するにあたり、市の担当者を頻りに訪問し、変更届の申請について打ち合わせしている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回、入居者ごとにホームでの様子を写真に撮るなどして報告している。金銭管理は立替方式にしていることから領収書を同封している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族や入居者に常時、意見や要望を聞くようにしている。ホームに来られない家族には電話して聞いている。しかし、家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みについては未整備である。		家族会を設けるなど、意見や要望を運営に反映させる仕組みづくりが必要と思われる。
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職による職員の交代が生じたが、入居者のケアに影響が生じないよう努めている。家族の多くは、職員が生き生きと働いている姿を感じている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時研修は行っており、マニュアル化されている。法人の全体研修やグループホーム連絡会の研修に参加している。しかし、現任研修についてシステム化が出来ていない。		職員各自に応じた学びの機会が確保できるよう、システムづくりと研修計画の策定が必要と思われる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	千葉市グループホーム連絡会に参加している。また、認知症の人を支援する専門職千葉連絡会にも参加している。こうした交流を積極的に行うことを通じてサービスの質の向上を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	入居前にはお宅を訪問して入居予定者の暮らしぶりを把握するとともに、ホームについて事前の理解を図っている。ホームへの入居について家族等が迷っておられる場合は、1~2週間のゆとりをもってホームの様子や雰囲気を見ていただくようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	入居者同士で話し合い、献立を決めるように努めている。外食にすることもある。職員は入居者の意向を踏まえて、近くのスーパーへの買い物や公園への散歩、同一法人が運営するデイサービスセンターへの訪問などを行っている。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	職員は入居者との普段の会話から、希望や意向を把握するようにしている。職員は把握した入居者一人ひとりの希望や意向をスタッフ間で共有するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	入居者と家族の希望等を汲み取るとともに、日々のケアを通じて得た入居者の状況を反映させた介護計画を作成できるように努めている。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	設定された期間に応じた介護計画の見直しができていない。入居者に変化が生じた時は、家族等と話し合い対応しているが、介護計画への反映が不十分になっている。		設定した期間での介護計画の見直し及び入居者や家族の要望や変化が生じた場合の介護計画の見直しを丁寧に行うことが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者と家族の希望に沿って、通院や理美容などの支援を行い、入居者の満足度を高めるように努めている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前のかかりつけ医については、入居者と家族の希望を確認して、受診できるようにしている。かかりつけ医との関係は良好であり、家族への報告も密にしている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	開設間もないホームであることから、対象となる入居者がおらず、終末期に向けた方針の確立は、今後の課題としている。		対象者がいない場合でも、入居者や家族が安心してサービスが利用できるように、また、急変時に対応できるように、方針の確立と共有が重要と思われる。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	毎月開催されるミーティングや日々の仕事の中で、プライバシー確保の大切さを確認をしているが、入居者にぞんざいな口調になっている場合もあり、十分ではない。		入居者の誇りやプライバシーを損ねることのないよう接し方、言葉遣いには十分な配慮が望まれる。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者一人ひとりのペースや力に合わせて、洗濯や買い物、散歩など日々の暮らしを支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	朝食と昼食は利用者の話し合いを尊重して献立を決めるようにしている。テーブルには職員1名以上が同席し、楽しく会話しながら食事している。調理、配膳、後片づけなどは、入居者が力にあわせて行っている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の体調や希望に応じて、毎日入浴できるようにしている。お湯は清潔なものをとのことから、1回毎に捨てて洗い直している。入浴後はボカリスエットで水分補給を促している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者一人ひとりにあわせて、調理や買い物などに役割を持っていただいている。散歩や部屋での読書などの楽しみごとに、職員は適切に支援している。絵画教室や音楽療法などのボランティア支援もある。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者のその日の体調に配慮し、買い物や散歩などの外出の機会を多くしている。外に出たがらない入居者には外食に誘うなどの工夫をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関、居室に鍵はかけていない。夜間は防犯のために施錠している。ユニットのドアは、夜間の時や事務所に職員がいない時のみオートロックにしている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルはある。また、スタッフは避難連絡について確認し合っている。しかし、避難訓練は行っていない。		避難訓練の定期的実施及び地域の町会や消防署などとの協力体制を築くことが重要と思われる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取状況を記録している。糖尿病等の既往症のある入居者に対しては、体重の増減状況等をかかりつけ医に伝え、カロリーの取りすぎや栄養バランスの良い食事に努めている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングのテーブルには季節の花を飾っている。また、入居者の中には、部屋の中が直接見えないようにすだれをかけるなどの工夫をしている。昼食時はテレビを消して、音楽に切り替え、ゆったりと食事できるようにしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に馴染みの家具等を持参するように働きかけている。仏壇や家族の写真を飾ったりするなど、居心地良く過ごせる工夫する入居者が増えてきている。		